

# ほろびたよりの4月

沖縄水産高校  
保健室  
2018年  
4月(臨時号)

## 沖縄県内において麻しん(はしか)患者発生!

平成30年3月23日に、沖縄県内で麻しん患者が発生しました。4年ぶりとなる発生は海外観光客から始まり、20~40代の発症が多いのが特徴です。しかし、その中には、小学生4名・中学生2名・高校生1名が含まれています。また、連日のように患者が増えていき、4/20時点で患者は65名になり、沖縄県内ではしかの感染が広がっています。

今回の流行は、1人の外国人観光客によって持ち込まれた麻しん(はしか)をきっかけに、県内各地で感染が広がりました。多くの感染者が出ているのは、感染力の強い状態で県内を旅行したまま居合わせた人に空気感染させたと考えられています。

今後、初発例から感染した方(二次感染例)との接触により感染した患者(三次感染例)が発生すると考えられているとのことです。すでに家族内で乳幼児が感染する例も出ていることから、引き続き注意が必要な状況です。

麻しん(はしか)の感染を防ぐためには、ワクチン接種を2回受けていることが重要とのことです。ワクチン接種を受けた記憶がない人は、医療機関へ相談し、ワクチン接種を受けることが必要です。

みなさんも母子手帳を確認し、ワクチン接種しているか確かめておきましょう!

## 麻しん(はしか)について勉強しておきましょう!



### ☆麻しんとは?

麻しんウイルスによる急性の全身感染症。空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。一度感染して発症すると、一生免疫をもっていることとなります。

### ☆麻しんの主な症状とは?

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、また、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻しんウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎と呼ばれる中枢神経疾患を発症することがあるようです。

### ☆麻しんの予防法とは?

非常に感染力が強く、空気感染することから、手洗い、マスクのみでの予防はできず、ワクチン接種が有効とのことです。

人混みの多いところへの外出は控えましょう。



表【あなたは何年生まれですか?ワクチン接種状況チェック!】

麻しん	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれの者	定期接種が行われていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人とない人がいます。
昭和52年~平成2年以前生まれの者	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回だけの接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性があります。低い場合は、修飾麻しんといって、自身は比較的軽い症状ですみませんが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、2回接種を必要とします。
平成3年以降生まれの者	定期接種2回接種の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合は、MRワクチンを接種して下さい。